

# 大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

## 1 調査対象大学院等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人信州大学

### (2) 大学院名

信州大学大学院

### (3) 大学本部の位置

長野県松本市旭3丁目1番1号

### (4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	コミヤマ アツシ 小宮山 淳 (平成15年6月11日)		
研究科長	オハシ トシオ 大橋 俊夫 (平成15年6月11日)		

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 保健学専攻 (修士課程)  修士 (看護学) 修士 (保健学)	年 2	人 14	人 28	基礎となる学部名等  医学部保健学科

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分 \ 対象年度	平成19年度	平成20年度		平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( - ) 14 人	( - ) 14 人		1.53 倍	
志願者数	( 16 ) 30	( 12 ) 20			
受験者数	( 16 ) 29	( 11 ) 19			
合格者数	( 16 ) 29	( 8 ) 16			
B 入学者数	( 15 ) 28	( 8 ) 15			
入学定員超過率 B/A	( - ) 2.0	( - ) 1.07			

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

区分 \ 対象年度	平成19年度	平成20年度		備 考
1年次	[ 0 ] 28	[ 0 ] 15		
2年次		[ 0 ] 27		
計	[ 0 ] 28	[ 0 ] 42		

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0%] 3.6%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 28人	
	(主な退学理由) 進路変更		
平成20年度	計 [ 0 ]	計 [ 0 ]	[ 0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 27人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 15人	
	(主な退学理由)		

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (18年11月30日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (19年4月1日)	該当なし		

## 7 その他全般的事項

<医学系研究科 保健学専攻（修士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

該当なし

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会（平成20年4月設置），関係資料等は別紙1のとおり</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 必要に応じて開催予定，構成教員4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1，学生による授業評価の実施に関すること。</li> <li>2，教員による相互授業見学の実施に関すること。</li> <li>3，FD研修会の実施に関すること。</li> </ol> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>FD研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院教育として求められる少人数での教育指導や研究指導の在り方</li> <li>・実践的な臨床能力の修得に必要な臨床現場での教育的指導の進め方</li> </ul> <p>b 実施方法 長崎大学から講師を招き実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成20年1月30日（水）開催（参加数63名）</p>
--

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
現在、委員会を中心として検討中

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙2のとおり)

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

平成19年11月19日公表 (大学機関別認証評価 自己評価書)

##### b 公表方法

信州大学ホームページ

#### ③ 認証評価を受ける計画

該当なし

## A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

## 1) 大学院医学系研究科保健学専攻の自己点検評価に対する考え方

信州大学医学部では、従来自主的な判断と努力によって教育・研究・診察活動を展開し、多大の成果をあげてきたところであるが、教育・研究水準の一層の向上と活性化を目指すために、医学部自らが不断の自己点検・評価を行い、改善・改革に向かって努力することとし、教授会で選出された委員により構成された点検・評価運営委員会を組織し、自己点検・評価を実施する。

## 2) 点検・評価の項目と評価の視点

## (1) 教育研究活動に関する目的

- ・教育研究活動を行うに当たっての基本方針，達成しようとしている基本的な成果等（以下「目的」という。）が明確であるか

- ・目的が教職員，学生等学内に広く周知され，社会に公表されているか

○医学系研究科修士課程（保健学専攻）シラバス及び同学生便覧に「教育・研究の理念」「教育・研究上の目標」を掲載し公表している。ガイダンス等で配付するとともに説明を行い、周知している。

さらに、社会に公表する方法として、平成20年度にホームページを整備すべく、担当委員を決めて活動を開始した。

## 「教育・研究の理念」

大学院医学系研究科修士課程（保健学専攻）は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念とする。精神的・身体的・社会的な側面から人間を全人的な存在としてとらえ、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を社会に還元することにより、保健保持と疾病や障害の予防・治療、医療安全に広く貢献し、人類の幸福と福祉の向上に寄与する保健学を構築する。

## 「教育・研究上の目標」

1. 高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を備えた人材の育成
2. 保健・医療・福祉の現場において研究を推進できる人材の育成
3. 国際的な共同研究や活動に参画できる人材の育成
4. 地域保健・医療・福祉の実践現場で働く有識者の活性化

## (2) 教育研究組織

- ・教育研究に係る基本的な組織や各種委員会等その他教育活動を展開する上で必要な実施体制が、目的に照らして適切であるか

○「医学系研究科保健学専攻委員会」を組織し、対応している。

- ・教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか

○「医学系研究科修士課程（保健学専攻）委員会」を組織し、対応している

## (3) 教員及び教育支援者

- ・教育課程を遂行するために必要な教員や教育支援者が適切に配置されているか
- ・教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われているか

○必要な専任教員を配置するとともに、平成20年度にはティーチングアシスタントを配置することが決まっており、必要な教育支援が行える。

#### (4) 学生の受入

- ・教育の目的に沿ってアドミッションポリシーが明確に定められているか
- ・アドミッションポリシーに沿って適切な学生の受入が実施され、機能しているか
- ・実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっているか

○保健学専攻のアドミッションポリシーは、次のとおり明確に定めている。

保健学専攻では、以下のような学生を求めている。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意ある人
2. 科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野でものごとを考えることができる人
3. 高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲のある人
4. 保健・医療・福祉において、指導的役割を担う意欲のある人
5. 将来の保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

このアドミッションポリシーに基づき入学試験を実施した。設置年度である平成19年度は、設置のニーズに応えるため、入学定員14名に対して、入学者28名であり、超過した。平成20年度は、15名であり、適正な受入である。

#### (5) 教育内容及び方法

- ・教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成され、その内容、水準、授与される学位名において適切であるか
- ・教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されているか
- ・研究指導が大学院教育の目的に照らして適切に行われているか
- ・成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっているか

○社会人大学院生にも履修しやすい授業時間帯に開講するなどして、設置申請とおりのカリキュラムを実施している。

また、医学系研究科保健学専攻委員会において、修了判定等の審査実施要項を定め、教員及び学生に周知するなどして適切に行っている。

#### (6) 教育の成果

- ・教育の目的において意図している、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっているか

○平成20年度に学生に対するアンケート等を実施し、教育の成果や効果を確認することとしている。

#### (7) 学生支援

- ・学習を進める上での履修指導が適切に行われているか、また、学生相談・助言体制等の



学習支援が適切に行われているか

○教員のオフィスアワーを設定し、学生が相談しやすい体制を整えている。また、指導教員以外にも領域の教員が指導助言を行う体制を整えている。

・学生の自主的学習を支援する環境が整備され、機能しているか、また、学生の活動に対する支援が適切に行われているか

○院生研究室を設け、いつでも研究できる環境を整えている。

・学生の生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われているか

○学生の生活面、経済援助等に対する相談・助言・支援は、学生総合支援センターが行っている。また、キャリアサポートセンターでは、就職支援として、就職相談、接遇研修、企業や公的機関からの求人情報の提供、就職個別指導など様々な取組みをしている。

#### (8) 施設・設備

・目的に沿って編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設、設備及び図書、学術雑誌、視聴覚資料その他教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されているか

○院生研究室を設け、いつでも研究できる環境を整えている。

保健学科固有の図書室は、9時から19時まで開館し閲覧や学習スペースが利用できる。加えて、医学部図書館は24時間利用可能となっている。また、院生用の図書を特別に選定し購入した。

#### (9) 教育の質の向上及び改善のためのシステム

・教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能しているか

・教育、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか

○平成20年度から、FD（ファカルティ・デベロプメント）ワーキンググループを委員会組織にし、教育の質の改善・向上を図る体制を整えた。

#### (10) 研究活動の状況

・目的に照らし、研究活動を実施するために必要な体制が適切に整備され、機能しているか

・目的に照らし、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上がっているか

○平成19年度の新入生に対して、同年6月に研究課題を提出させ、本年度で修了を予定している学生からは、20年12月には学位審査申込み、2月までに審査を終え、論文発表会の開催を予定している。

平成19年度は、医学系研究科他専攻の学生を研究発表会の発表者に招いて、保健学専攻学生を対象にした研究発表会を開催し、本専攻一期生の研究意識を高めた。

#### (11) 社会貢献の状況

- ・蓄積された知的資産を社会に還元すべく、地域への教育支援・協力等の地域貢献活動が行われているか
- 地域医療に貢献する高度医療人を養成している。